

踏み出そう新たなステージへみんなの力が新渡戸の未来



新渡戸記念 中野総合病院 だより

Nitobe Memorial Nakano General Hospital

5月号

令和4年5月1日号

東京医療

住所 東京都中野区中央四丁目59番16号

TEL 03-3382-1231 (代) 夜間受付 03-3382-9991

ホームページ <http://www.nakanosogo.or.jp> E-mail syougai@nakanosogo.or.jp

第395号

発行人/理事長 入江 徹也

発行責任者/渉外・広報課長 仲田 智

創立記念90周年～新病院建設に向けた新たな覚悟～

東京医療生活協同組合新渡戸記念中野総合病院 理事長 病院長 入江 徹也

当生協は90年前の1932年(昭和7年)5月27日「有限責任 東京医療利用組合」(組合長 新渡戸稲造)として設立が許可され、協同組合が病院を運営するという当時にあっては画期的な組織が1年以上に及ぶ筆舌に尽くせぬ困難との闘いの末に漸く誕生しました。設立認可が絶望視される中、時の東京府知事 藤沼庄平が五一五事件を受けて警視總監に赴任することとなり「府知事としての最後の日」に当生協の設立認可を決済するという奇跡とも言える当生協の誕生でした。第二次世界大戦による一時期病院廃止(日本医療団に病院貸与)を乗り越え1965年に全館新改築(現在の病院)しましたが、病院建設・設備投資への負担等が原因で事実上財務破綻状態となり1976年3月東京地裁への「和議申立」に至りました。しかし、経営破綻時に崩壊していた医局が1973年1月東京医科歯科大学からの池澤康郎整形外科主任医長(前理事長)派遣を契機に整備された結果、業績が改善して1985年12月に和議債務完済を達成しました。

債務完済後、当生協は順調な発展を遂げましたが2002年(創立70周年)以降は医療環境の悪化に伴い、小児科、桃園病院、看護学校、産科病棟、第7病棟(療養病棟へ転換)の閉鎖に加え、急性期診療の活動指標である年間救急搬送件数が7907件(2002年度)から2316件(2012年度)にまで減少し、財務破綻に

は至っていないものの「和議申立」以来の経営危機に陥りました。この危機を打開するため、2015年第66回通常総代会にて「創立時の精神(原点)」に立ち帰り、急性期病院として地域に貢献する、創立者の意志を次世代に引き継ぐ、その為に老朽化した病院を建て替える新病院建設が決議され、同時に当院は「新渡戸記念中野総合病院」に改名されました。新病院建設はコロナ禍等の影響もあり現在一時的に休止していますが、医療安全・感染対策の強化、7対1看護体制取得、心臓カテーテル室設置、電子カルテ導入等の病院改革は全速力で進行中です。

私たちは今コロナ禍という厳しい試練の中にいます。しかしコロナ禍は急性期病院の大切さ、当院が担うべき重要な使命を改めて教えてくれました。2022年4月から当院は「地域医療構想」で求められている病院機能(役割)分担を厳密に運用し急性期病院として地域に貢献するため、入院から退院までを総合的に指導・支援する「入退院管理・患者支援センター」を開設しました。創立90周年は「急性期病院として地域に貢献する、創立者の意志を次世代に引き継ぐ、そのために新病院を建設する」という目的に向けての大切な節目の一年です。職員一同新たな覚悟を持ち、心を一にして邁進する所存です。皆様にはご理解・ご指導・ご支援を頂きますよう心よりお願い申し上げます。

新任医師紹介

4月1日から新たに17名の医師と8名の臨床研修医が着任しました。
どうぞよろしくお願いいたします。



腎臓内科医長
河野 洋平



腎臓内科
松永 優里恵



呼吸器内科医長
今瀬 玲菜



脳神経内科医長
青木 華古



脳神経内科
安達 彩織



脳神経内科
榎本 晟也



外科医長
川村 雄大



外科
宮澤 傑



外科
原田 紡



整形外科部長
結城 新



整形外科医長
山田 淳



整形外科
鯨島 基彰



皮膚科
島 英輝



耳鼻咽喉科医長
市原 寛子



精神神経科医長
塩入 明子



放射線科
島田 雅之



病理診断科部長
北川 昌伸



1年目の臨床研修医



臨床研修医
井上 魁



臨床研修医
木谷 恵里加



臨床研修医
木村 仁紀



臨床研修医
工藤 大介



臨床研修医
藤野 淳也



臨床研修医
渡部 真仁



臨床研修医
保坂 勇樹



臨床研修医
岡村 広輝

医師退職 のお知らせ

2022年5月31日をもちまして、眼科 野中 椋太 医師が退職となります。
眼科診療に加え、新型コロナウイルス診療にもご尽力いただきました。
新しい職場での更なるご活躍をお祈り申し上げます。



病院からのお知らせ

新人看護師の初心者マークについて

今年も新人看護師が入職いたしました。当院では、法律に基づいた新人看護師研修を定期的に行っており、患者の皆様安心して安全な看護を提供するため、日々看護実践能力の育成に努めています。新人看護師は、職員証に「初心者マーク」を付けています。患者の皆様との関わりの中で大きく成長してまいりますので、初心者マークを見かけた際は暖かく見守っていただきますよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



看護師・介護士の制服が変わりました

2022年4月より当院は新ユニフォームを導入しました。看護部ユニフォーム委員会が中心となり、20代～60代まで幅広い年代の看護師に似合うデザイン、着心地、機能性を評価して決定しました。形はスクラブタイプ。カラーは白、グリーン、濃紺の3色展開です。今回、介護福祉士と看護助手も新ユニフォームを導入し、様々なカラーを取り入れて元気で明るい印象となりました。新ユニフォームで気持ちも新たに頑張りたいと思います。



人気メニューのレシピをご紹介します！

栄養科 病院食通信⑥



【はんぺんのはさみ焼き】

今回は軟菜食のメニューより「はんぺんのはさみ焼き」をご紹介します。軟菜食の方でもより食べやすいように、具はささみ挽肉を加えたクリームソースで、やわらかい食感に仕上げています。またバターや牛乳を使用することで、不足しがちなエネルギーもしっかり確保できる一品です。少々手間がかかりますが、その分美味しく、患者の皆様には大変喜ばれます。

材料 (1人前)

はんぺん…………… 60g
サラダ油…………… 2g
卵黄…………… 適量

〈具材〉

バター…………… 3g
薄力粉…………… 3g
牛乳…………… 15ml
ささみ挽肉…………… 15g
玉ねぎ…………… 10g
塩…………… 0.2g

栄養成分表示 (1食あたり)

エネルギー 145kcal／たん
ぱく質 11.0g／脂質
6.8g／炭水化物 10.6g
(食物繊維 0.2g)／食
塩相当量 1.2g

調理方法

- ① はんぺんを半分に切り、具を入れるように切り込みを入れる
- ② フライパンでバターを溶かし、ささみひき肉と玉ねぎのみじん切りを炒める
- ③ 小麦粉を入れ粉っぽさがなくなるまで混ぜる
- ④ 牛乳を入れよく混ぜ、塩で味を整える
- ⑤ 弱火でとろみがつくまでよく混ぜたら粗熱をとる
- ⑥ はんぺんに⑤を入れ、サラダ油を塗ったアルミホイルに並べる
- ⑦ 片面にハケで卵黄を塗り、トースターで焼き色をつける
- ⑧ 裏返してもう片方の面も卵黄を塗り、焼き色をつける
- ⑨ ⑦～⑧を2回繰り返してきつね色の焼き色が付いたら完成

ポイント

最後に卵黄を重ね塗りすることで、綺麗な黄色に仕上がります。

がん哲学外来

がんに関わるさまざまな悩みを対話を通して解消する「がん哲学外来」。東京医療生活協同組合の組合員およびそのご家族の方が対象で、組合員(原則)の方なら、どなたでも無料で予約できます。1回約50分(1日4組まで)。

ご予約方法

電話

03-3382-1507

受付時間

9時～16時30分

開催予定日

5/10(火)、5/16(月)、5/23(月)、5/30(月)

ご意見をお寄せください

東京医療生活協同組合は、機関紙「新渡戸記念中野総合病院だより」を通して私どもの活動を皆様にお知らせして、皆様との交流を図って参りました。このたび、この活動をさらに発展させ、皆様からのご意見を積極的に聞き、当生協の運営に役立てることといたしました。

つきましては、当組合に対するご意見、ご要望を郵便、メール、またはFAXにてお送りくださいますようお願いいたします。なお、ご意見をお送りいた

だきます際には、ご氏名に加えて必ず組合員番号(組合員証に第〇〇〇〇〇号と記載されています)をご記入いただきますようお願いいたします。

宛先

東京医療生活協同組合 渉外・広報課

住所

〒164-8607 中野区中央四丁目59番16号

メール

syougai@nakanosogo.or.jp

FAX

03-3381-4799



新渡戸の言葉

2022年5月27日の創立記念日は90周年を迎えました。創立前年1931年6月の創立発起人会で新渡戸 稲造博士は「私共発起人は、パイオニアであります。パイオニア即ち開拓者の精神の乏しいことが、日本人の大欠陥でもありますから、私どもは金力が無くとも、正しい動機によってなされたものは、斯様に立派に成功するということを天下に示さねばなりません。」と挨拶で述べています(『東京医療生活五十年史』東京医療生活協同組合 1982年)。

“Socialized Medicine”と題された1933年8月10日付英文大坂毎日新聞のEditorial Jottings(編集余録)の脚注には「これは新渡戸 稲造が賀川 豊彦と協力して、一九三二年五月二十七日、東京中野に発足させた東京医療利用組合のこと。日本における市民健康保険組合の最初。」と記されています(新渡戸 稲造全集第二十巻『編集余録』佐藤 全弘訳)。今月号の本文には以下の言葉が続きます。医療実施と医薬供給の国有化という大理想には、まだまだ道は遠いであろう。アメリカでは、一人あて一年間四十ドルで、現在えられる最高の医療の支払いに十分だといわれる。……その運動は、医者を経済的地位には当たりがきつい、大衆は、現在の制度と結びついた窮状から救われねばならぬ。

創立翌年の昭和8年、新渡戸 稲造博士最晩年の心得は「誠実、気転、そして忍耐」。新病院建設の覚悟に今、想いを馳せています。

新渡戸記念中野総合病院副院長 山根 道雄



特定の目的のために地域協力を行うという原理は、今や地盤をえつつある。そしてこの国では、医療援助の領域で、すなわち医者と薬の供給のための一種の相互保険において、適応されて、大成功を収めている。

『編集余録』一九三三年八月十日

医療社会化(佐藤 全弘訳)

新渡戸 稲造